

第9回ゴールデンシニアバスケットボール埼玉大会

競 技 要 項

I. 参加資格

1. 埼玉県家庭婦人バスケットボール連盟に登録された競技者であること。
2. 競技者は本年度内に50歳以上（2017年4月1日現在49歳以上）となる女性とする。
3. チームスタッフ内で試合の指揮を執るものは（公財）日本バスケットボール協会に登録されたJBA公認コーチ『E-1級以上』でなければならない。

II. 競技規則および方法

1. 試合時間は、7分－1分－7分－8分－7分－1分－7分とする。延長戦は無し。
2. ゲームに必ず8名以上エントリーをする。また、エントリーした選手は必ず出場する。
3. II－2項に違反したチームの試合は消化試合とする。（但し、当日の怪我等による特別な事情の場合には競技委員長の判断とする。）また、違反したチーム及び選手の次年度同大会への参加は認めない。
4. タイム・アウトは、1チーム前半2回・後半3回とることができる。
5. 前試合との間隔は、8分間とする。

III. ベンチの着席方法は、組み合わせの左側のチームが、オフィシャル席に向かって右側とする。

IV. ユニフォーム及びアンダーガーメント等について

1. 組み合わせの番号の若いチームは、ユニフォームは淡色（白）。2試合目は必要があれば当該チーム同士で話し合っで決める。
2. ユニフォームの色と形はチームで統一する。但し、合同チームは、番号が重ならないければ、それぞれ自チームのユニフォームを着用しても良い。
3. ユニフォーム内にTシャツを着用してもよい。但し、ユニフォームのシャツと同色で、着用者は同型とする。
4. アンダーガーメントは、着用してもよい。
5. 下肢部についてはタイツ様のものも可とし、色の制限は無しとする。
6. アームウォーマーは着用可とし、色の制限は無しとする。
7. チーム内で、Tシャツ・アンダーガーメント等の着用者と非着用者がいてもよい。

VI. ベンチエントリー

1. 監督1名、コーチ1名、アシスタントコーチ1名、その他スタッフ2名、メンバー表に記載された選手(8名以上)とする。
2. ベンチ入りしたコーチは、JBA認定コーチ証を必ず首から下げる。また、選手ではないスタッフは、連盟の定めるスタッフ証を必ず首から下げる。
3. 各チーム、前の試合のハーフタイムまでに競技委員会席に用意したスコアシートにメンバーを直接記入する。第1試合のチームは、試合開始20分前までに、メンバーをスコアシートに記入する。

VII. TO及び審判

1. TOは、組み合わせ表に記載されている通り。
2. TO担当のチームは、副審1名を出す。
(当日の状況によっては、副審の割当てが無い場合もある。)

VIII. その他

1. 試合が行われている時のアリーナ内でのボールを使った練習は禁止とする。
2. 指輪、ネックレス、ピアス、ピン止め等の金属類は、ゲームの時は必ず外す。
外せないときは、必ずテーピング等をする。

IX. 上記以外は、2015年～ (公財)日本バスケットボール協会競技規則に基づく。

以上